

年 組 名前：



農業や野菜について説明するフレッシュミズのメンバー＝南アルプス市平岡

フレッシュミズは地域を担い、食や農業を次世代につなげ、心豊かな暮らしを形成しようとして、6月23日はフレッシュミズの初めての活動として、南アルプス市平岡の畑で、農作物の商品化などに携わる女性部加エグループのメンバーや、榎形西小の1、2年生16人とジャガイモの収穫体験を実施。ジャガイモの見分け方を教え

ながら、掘り出していた。メンバーは収穫後、同所のほたるみ館で「野菜のおはなし」と題して食農教室も実施。児童らに産地や農業の実態を説明し、地産地消の大切さを訴えた。2年生の高石麻結さんは「農家が減っていることが分かった。農家を守るため、野菜や果物をいっぱい食べたい」と話した。フレッシュミズは今後も子どもたちへの食農教育や耕作放棄地を利用したイベントなどを実施していくという。リーダーの片山京子さん(43)は「農業に関する課題は多い。農業文化を次の世代につないでいくため、新しいアイデアで課題解決に取り組んでいきたい」と話している。

JA南アルプス市 組織結成、食育や土地活用

農業に若い女性の視点

JA南アルプス市は、食や農業に関心を抱く若い世代の女性でつくる組織「フレッシュミズ(フレッシュミズ)」を立ち上げた。県内のJAでは初めての設立で、食農教育活動や耕作放棄地の問題に取り組んでいく。
〈穴山菜津美〉

(2022年7月7日付 山梨日日新聞 21面)

問1 フレッシュミズ(フレッシュミズ)とは、どのような組織ですか。

.....

問2 フレッシュミズは、どのような問題に対し、取り組んでいますか。2つ教えてください。

.....

問3 小学生との収穫体験後の食農教室で、児童にどのような話をしましたか。

.....

問4 あなたは、農業文化を次世代につないでいくために、どのような取り組みが必要だと考えますか。

.....

.....